

三重大学広報誌

三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

〈ホットNews〉

感染対策

01...04

〈特集〉

連携

高大連携

05...08

地域貢献活動支援事業

09...12

〈特集〉

学ぶ・育む プログラム「X」

13・14

〈特集〉

三重大学医学部附属病院

～中央診療施設 part II～

15・16

気になるNews

17・18

スポット／クラブ・サークル

19・20

表彰／本の紹介

21・22

お知らせ

23...25

歴史街道シリーズ

26

ホットNewsは

感染対策

インフルエンザの流行に備えて



vol.19
2009 AUTUMN

感染対策



津市立一身田小学校

2009年 新型インフルエンザ パンデミックへ

2009年4月、新型インフルエンザが発生し、6月11日^{※1}に世界保健機構（WHO）は世界的大流行（パンデミック）を宣言しました。当初は封じ込めを目指していた対応も、状況が明らかになるにつれ柔軟な対応へと変わってきました。8月より本格的な流行が始まっており、個人個人の感染対策がより重要となってきています。



えっ インフルエンザとは？

- ◎ **どんな病気ですか？**
- ！インフルエンザウイルスの感染により、突然の高熱と全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が現れます。
- ！通常、高熱が数日間持続し、1週間程度で回復します。
- ！時には、合併症を伴い重症になることもあります。
- ！流行は通常、11月から12月に始まり、翌年の1月から3月にかけて患者が増加します。

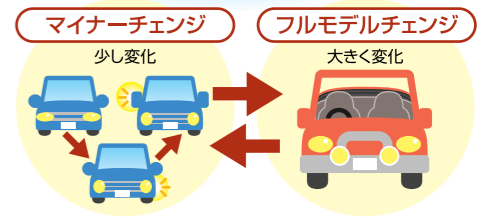
- ◎ **インフルエンザの種類**
- ヒトのインフルエンザには、A型、B型、C型の3種があり、A型とB型が流行しています。

では、インフルエンザについて学習してみましょう。



えっ 新型インフルエンザとは

インフルエンザの抗原性は、毎年、少しずつ変化し（マイナーチェンジ）、数年から数十年単位で、大変異を起します（フルモデルチェンジ）。これが新型インフルエンザの発生です。



えっ 2009年 新型インフルエンザ発生

- ★WHO ★日本 ★三重県
- 4月27日^{※1} ★フェーズ4 新型発生
- 4月29日^{※1} ★フェーズ5
- 5月16日 ★国内での2次感染例発生
- 6月11日^{※1} ★フェーズ6
- 6月19日 ★厚生労働省の指針改定
- 7月8日 ★三重県対応指針
- 7月24日 ★厚生労働省法律施行規則の一部改正

現状では新型インフルエンザ（H1N1）2009は、軽症と考えられがちですが、ハイリスク者^{※2}を中心に重症者も出ています。現在国内でも広がりつつあり、今冬には大きな流行になることが予想されます。今後の変異は予測できませんが、対策は毎年の季節性インフルエンザ対応の延長線上にあります。



国立感染症研究所感染症情報センター 第一室長 谷口 清州 Taniguchi, Kiyosumi (三重大学OB、えっくすVol.17 P7参照)

※2：基礎疾患のある者や妊婦

- 【厚生労働省】 <http://www.mhlw.go.jp/>
- 【国立感染症研究所感染症情報センター】 <http://idsc.nih.gov/index-j.html>
- 【三重県】 <http://www.pref.mie.jp/>

- フェーズ（警戒レベル）
- ★4：小規模な集団感染の発生
- ★5：より大きな集団感染の発生と、世界的大流行につながる危険性がある
- ★6：世界的大流行が発生し、急速に感染が拡大する状態

えっ パンデミックの歴史

- 1918 スペインかぜ H1N1
- 1957 アジアかぜ H2N2
- 1968 香港かぜ H3N2
- 1977 ソ連かぜ H1N1
- 2009 新型インフルエンザ H1N1

新型インフルエンザ 情報へ

えっ どんどん対策も変化しているよ

予防 インフルエンザの流行に備えて

～個人でできること、事業所単位でできることを考えてみましょう～



インフルエンザのことを理解して、個人で、できる予防をしましょう!!

三重大学医学部附属病院
感染制御部・副部長
田辺 正樹 Tanabe, Masaki

症状

- 38℃以上の発熱
- 咳
- 咽頭痛
- 全身倦怠感

治療

抗ウイルス薬

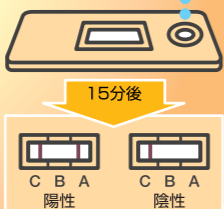
解熱剤



検査

ウイルス抗原検出

検体の採取



判定

インフルエンザにかかっても発症早期には、陽性とならない場合があります

安静にする!!

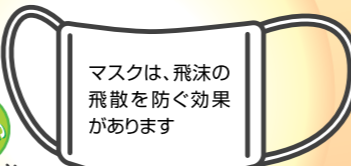
主な感染経路

飛沫感染

接触感染

咳エチケット

咳やくしゃみのしぶき(飛沫)は、約2メートル飛びます



マスクは、飛沫の飛散を防ぐ効果があります

咳やくしゃみが出るときは、マスクをつけよう

手洗い



自分がかからないようにする

洗い残しに気をつけて!!

予防

人にうつさないようにする (感染者の注意点)

接触を減らす

人の集まる場所への外出を控える



本学の「新型インフルエンザ」BCPをご紹介します。

三重大学保健管理センター・所長
住田 安弘 Sumida, Yasuhiro



BCP Business Continuity Plan (事業継続計画)

～感染を予防しながら重要な業務を継続する～

- 大学における集団感染を可能な限り抑制し、健康被害を最小限にとどめる。
- 教育・研究活動を破綻させない。



ユニバーサルパスポートを活用した感染拡大防止

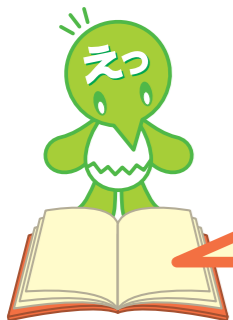
- 1. パソコンや携帯メールを使って大学と学生が連絡をとるネットワークシステム
- 2. 本学から、学生へメールで新型インフルエンザの情報を流す
- 3. 症状がでている学生は、大学にメール連絡をいれ、自宅待機の指示を受ける
- 4. メールの情報から、どの学部で何人が発症しているか把握
- 5. 状況の理解と判断より、集団感染を制御
- 6. 大学で感染拡大を阻止

HOT NEWS ホットニュース/感染対策

HOT NEWS ホットニュース/感染対策

未来を拓くチャンスがここに!

高校と大学が一緒に行う教育



三重大では、「国立大学法人 三重大と三重県教育委員会との**高大連携事業に関する協定書**」にもとづき、下記の点について**連携協力を進めています。**

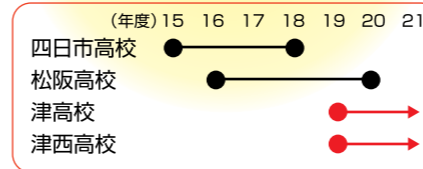
- ① 高校生が大学の高度な教育・研究に触れる機会の提供
- ② 大学が求める学生像や大学の教育内容等の情報提供
- ③ 高校と大学のそれぞれの教育に関する相互理解の促進



三重大では、学習意欲あふれる高校生が自発的に大学で勉強できる機会を積極的に提供しています。サマーセミナー、東紀州講座、高校生向け公開授業などを開設し、スーパーサイエンス・ハイスクール(SSH)やサイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)にも積極的に協力しています。

SSH

文部科学省が、平成14年度から科学技術、理数教育を重点的に行う高校をSSHに指定しています。三重大では、現在津高校と津西高校の取り組みに協力しています。



津高校

津西高校

高校生向け公開授業

平成19年度から三重県内の高校生が三重大の学生と同じ条件で、共通教育科目を学ぶことができます。試験に合格すると単位を得ることでき、三重大に入学した場合には、取得した単位として認定されます。

ホームページはコチラ↓
<http://www.mie-u.ac.jp/koudai/>

サマーセミナー

平成17年度からはじまり、今年で5回目となるサマーセミナーは、夏休み期間中の高校生を対象に開催しています。三重県内の高校生が三重大で学ぶ機会をつくり、大学の教育、研究に触れることにより、将来の進路決定の助けとなることをねらっています。



SPP

文部科学省の「次代を担う人材への理数教育の拡充」施策の一環として、高校と大学等の連携により、生徒に科学技術や理科・数学に関する興味を持たせることを目的とした取り組みです。

今年は松阪高校と伊勢高校と連携しています。
 (上野高校、四日市南高校も予定しています。)



松阪高校

伊勢高校

東紀州講座


平成17年度からはじまり、今年で5回目となる東紀州講座は、遠方のためサマーセミナー等に参加することが困難な東紀州地域の木本高校、尾鷲高校の高校生を対象に、大学教員が両校へ出向いて紀州地域に関係の深い自然、文化、社会などを素材とした公開授業を行っています。



木本高校

尾鷲高校

僕たちが取材に伺ったところを案内するねここで紹介するのはごく一部まだまだたくさんあるんだよ



心肺蘇生体験中



SPP
血液についての基礎知識をいろいろ学び体験しました。

心臓の音はどなたの心に聞かせるかな?



【医】病態説明医学講座 臨床検査医学
和田 英夫 准教授

血液型が分かっちゃっ



【医】医学・看護学教育センター
中井 桂司 講師

伊勢高校 スケジュール
7月27日
◎PBL教育体験
臨床技能教育体験

松阪高校 スケジュール
6月27日、6月6日
◎最新の分子生物学について
7月18日、8月4日
◎血液についての基礎知識
11月11日
◎発表会

スケジュール
◎前期、後期、夏季合わせて約50科目を開講



野村 由司彦 理事(教育担当)・副学長
石田 正昭 学長補佐(高大連携担当)

高校生向け公開授業

尾鷲高校&木本高校 スケジュール

6月6日 [尾鷲]
◎災害看護

6月13日 [木本]
◎波で計算する。量子アルゴリズムとその応用

6月20日 [尾鷲]
◎未来都市について考えよう

7月11日 [木本]
◎地震・津波から我が身を守る

7月18日 [尾鷲]
◎コンピューターがモノを見る

9月12日 [木本]
◎グリム童話と「日本の昔話」の比較

9月19日 [尾鷲]
◎漢字と東アジアの文字

9月26日 [木本]
◎物語としてのコミック

東紀州講座
7月11日

7月18日

7月19日

高校生の感想が届いています「大学でもっと勉強したい」という意欲的な意見があったよ



【工】素材化学 生体材料化学
宮本 啓一 准教授

【生】附属練習船 勢水丸
中村 亨 二等航海士・助教


【生】附属練習船 勢水丸
仲里 慧子 三等航海士

【生】海洋生物学 生物海洋学
石川 輝 准教授

【生】水圏生物生産学 魚類増殖学
吉岡 基 教授

【教】美術教育
山田 康彦 教授

グループに分かれて空を描きました。



サマーセミナー
7月28日
◎表現を生かした教育の展開

8月6日
◎人生設計と政治
◎環境情報の計測

8月10日、11日
◎簡易ロボットの仕組みと動かし方

8月11日
◎微生物のふるふ：見る・食べる・学ぶ

8月24日
◎植物寄生菌類の観察およびコンピューターを用いた分子系統樹の作成

【教】音楽教育
根津 知佳子 教授

サマーセミナー
7月28日
◎表現を生かした教育の展開

8月6日
◎人生設計と政治
◎環境情報の計測

8月10日、11日
◎簡易ロボットの仕組みと動かし方

8月11日
◎微生物のふるふ：見る・食べる・学ぶ

8月24日
◎植物寄生菌類の観察およびコンピューターを用いた分子系統樹の作成

【医】ゲノム再生医学講座 発生再生医学
成田 正明 教授

【工】素材化学 有機素材化学
川口 正美 教授

SSH

【病】中央放射線部
佐久間 肇 准教授

【生】循環生物工学 微生物工学
木村 哲哉 准教授

貴重な！分量はOK?

おももしろい、大学選びの参考になるよ。

親切に教えてくれるのはじめてでも大丈夫。

海洋観測 スナメリの目視観察を体験しました。

スナメリ見たかったよ〜

スナメリ見たかったな。海のことが色々勉強できたよ。海の生き物をもっと勉強したいと思った。

酔っ払い、気持ち悪かった。こんなチャンスないし、海に来た良かった。

【工】ナノ工学 ナノセンシング
野呂 雄一 准教授

SSH 津西高校 スケジュール

【スーパーサイエンスI】
6月15日
◎燃料電池について

【フィールドワーク】
5月10日
◎青山高原風力発電装置見学 三重大学での風洞実験

7月25日
◎練習船「勢水丸」による伊勢湾環境実習

【スーパーサイエンスII】
◎三重大学にて夏季集中実習11講座開催

描く動作を音と体で表現中!

テーマは表現 身体、美術、音楽を使った コミュニケーションを体験しました。



【教】保健体育
山本 俊彦 教授

取材にご協力いただいた皆さんありがとうございました

次のペアは誰かな?

SSH 津高校 スケジュール

【スーパーサイエンス特論A】
◎発生学脳科学実習
◎画像診断実習

【スーパーサイエンス特論B】
5月7日~1月28日隔週(木)
◎バイオテクノロジーを利用したバイオマスの利用に関する基礎研究
◎細胞をとりまく環境分子である細胞外基質の役割を学び、生体材料化する
◎エマルジョンの調製とそのキャラクタリゼーションその他

【生】循環生物工学 微生物工学
木村 哲哉 准教授

【病】中央放射線部
佐久間 肇 准教授

【工】素材化学 有機素材化学
川口 正美 教授

【医】ゲノム再生医学講座 発生再生医学
成田 正明 教授

貴重な！分量はOK?

おももしろい、大学選びの参考になるよ。

親切に教えてくれるのはじめてでも大丈夫。

素足で走れる町屋海岸

地域とともに、海岸環境を考える



三重大学人文学部文化学科・教授
 三重大学学長補佐(環境ISO担当)
朴 恵淑 PARK, Hye-Sook
 [URL] <http://faculty.human.mie-u.ac.jp/~park/>
<http://www.iso.mie-u.ac.jp/student/>

町屋海岸にて

◎環境先進大学

三重大学は、日本の大学の中で海(町屋海岸)に最も近く、空の翠(みどり)、樹の翠、波の翠の三翠に恵まれ、優れた自然環境を守りながら持続可能な地域社会を担う「環境先進大学」を目指しています。平成19年11月に環境先進大学への第一歩として全5学部が一括してISO14001認証を取得し、学生が中心となって環境マネジメントシステムを創り、様々な環境活動を行っています。

◎翠をまもる環境活動

町屋海岸は、不法投棄されたごみが散乱しているため、三翠の海とはほど遠い状態です。「素足で走れる町屋海岸」をスローガンに、三重大学生、教職員、地域住民(町屋百人衆)、小学校(北立誠小学校)、企業(中部電力)、行政(三重県、津市)からなる共同体をつくり、平成17年7月から町屋海岸クリーンアップ活動に積極的に取り組んでいます(図1)。

次世代を担う子どもたちに環境学習を行うことは、私たちの世代と将来の世代が問題意識を共有する良い機会となります。そ

図1 町屋海岸清掃活動

- 1** 地域住民が一緒になって清掃
参加者は毎回100名以上
- 2** ゴミの分別
一回の清掃でゴミ袋120袋分のゴミが集まります。
- 3** ゴミを回収
- 4** とてもキレイな町屋海岸



図2 北立誠小学校での環境学習

- 1** 環境ISO学生委員会の学生が町屋海岸の現状について説明する。
- 2** 町屋海岸をキレイにするには? グループに分かれて意見を出し合う。
- 3** 意見を画用紙に書き込む。
- 4** グループごとに発表を行う。

◎ポスターをつくって注意を促す。
 ◎ゴミを捨てたら100回掃除させる。
 ◎木に登って監視する。
 ◎交番をつくる。
 ……

いろいろな意見が出たよ

ゴミを回収する「ecoネコ」っていうキャラクターを考えてくれたよ

町屋海岸には子どもたちが描いた看板があります。

生き物達が困っています

笑顔あふれるきれいな海岸

こで、私たちは北立誠小学校の6年生に町屋海岸のごみの現状を教えています。子どもたちがキレイにする方法を考え、話し合い、様々な意見を出します。この学習の成果として、町屋海岸には、この子どもたちが描いてくれた不法投棄防止を呼びかける看板があります(図2)。今後も引き続き、北立誠小学校の児童と共に海岸清掃やごみの調査を行い、不法投棄をなくす呼びかけの看板を多数設置する予定です。

◎未来への仕組みづくり

今年度は、定期的な町屋海岸清掃の実施とともにごみ分析を行い、どの種類のごみがどこで発生しているのかを突き止める作業を行っています。そして町屋海岸の現状をより詳しく把握し、産学官民が協働で不法投棄問題を解決するための仕組みづくりを進めています。この仕組みには、環境を守るためには規制が必要と考えるだけでなく、町屋海岸がみんなの共有財産であるとの認識を高めるねらいがあります。「環境先進大学」として三重大学はこのような未来への仕組みづくりに積極的に関わることで、社会的責任(USR)を果たします。

子ども発!「笑顔のモト!」

～小学校における多文化共生の実践～



三重大学教育学部・講師
林 朝子 Hayashi, Asako
【URL】 <http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/1101.html>

津市立一身田小学校にて

◎多文化共生って何?

三重県には、県内総人口の約2.8%に当たる約5万人の外国人登録者がいます(平成20年末)。国籍はブラジルなどの南米諸国や中国などのアジア諸国など多岐にわたります。ルーツや文化が外国につながる人とお互いの文化を理解し共有しあって、一緒によりよい生活を目指していくことが多文化共生です。ここでは、学校での多文化共生について紹介します。

◎学校で起こっている問題は?

三重県内の学校(幼稚園や保育園も含めて)にも、多くの外国人の子どもたちが通っています。子どもにとって楽しいはずの学校も、彼らには辛い場所になってしまうことも多いのが現状です。日本の学校文化に馴染めない、日本語が分からず授業が全く理解できないなど、苦しんでいる子どもたちがたくさんいます。その苦しみを減らそうと、県や市町の自治体やボランティア団体などで様々な取り組み(子どもの母語がわかる指導員の派遣、放課後日本語教室など)が行われています。

図1 世界を結ぼう!



平成20年度の活動内容

- 1回 クラブの名前を決めました。
- 2回 ブラジルについて調べました。
- 3回 ブラジルの日本人学校に手紙を書きました。
- 4回 ブラジルの子どもたちに日本を紹介する手紙を書きました。
- 5回 2人のブラジル人児童と交流しました。
- 6回 担当のシルビア先生に色々質問しました。
- 7回 ブラジル人児童とダンスをしました。
- 8回 ブラジルのお菓子をつくりました。

手紙の返事も届き、みんな大喜びでした。

◎子どもが学び、広める

一身田小学校でも約20名の外国人の子どもたちが在籍し、多文化が共存する空間になっています。このような現状の中、平成20年4月、先生方の協力のもと、月1回の4～6年生を対象としたクラブ活動「世界を結ぼうクラブ」を立ち上げました(図1)。クラブ名は、外国人の友達の国や文化を「異質なものと捉えず、文化の一つとして理解するという気持ちから生まれました。自分の国の文化を知ることによって、外国の友達の文化の存在を理解できます。そして、お互いが異なる文化を認め合う必要がある

図2 子どもたちの変化

◎友達、家族への広がり

歌や踊りをクラブ以外の友達に披露したり、クラブで作ったお菓子を家族にあげたりしました。



◎子どもたち同士のつながり

ブラジル、日本の子どもといった区別をせずに一緒に遊ぶ機会が増えました。



◎国際学級への関心

国際学級を特別なところと思わず少しずつ日本の子どもたちも遊びに行くようになりました。

※国際学級：外国人の子どもたちが日本語を勉強するクラス

◎世界が広がる

クラブを通して違う世界を知ることができました。



今年の 新規取り組み

- 外国の友達にビデオレターを送ります。
- 遊びを通して、中国文化に触れ、中国語にも挑戦します。

のではないのでしょうか。そうすれば、文化の違いや言葉で困っている友達を助け合う学校空間ができるでしょう。

また子どもたちが、クラブを通して学んだことを、他の友達に伝え、それが学校全体にさらに家庭から地域へと広がることを期待しています。好奇心や感受性が豊かな子どもたちを今後も応援していきたいと思っています。

留学生と在校生が「みがき合い」「高め合う」

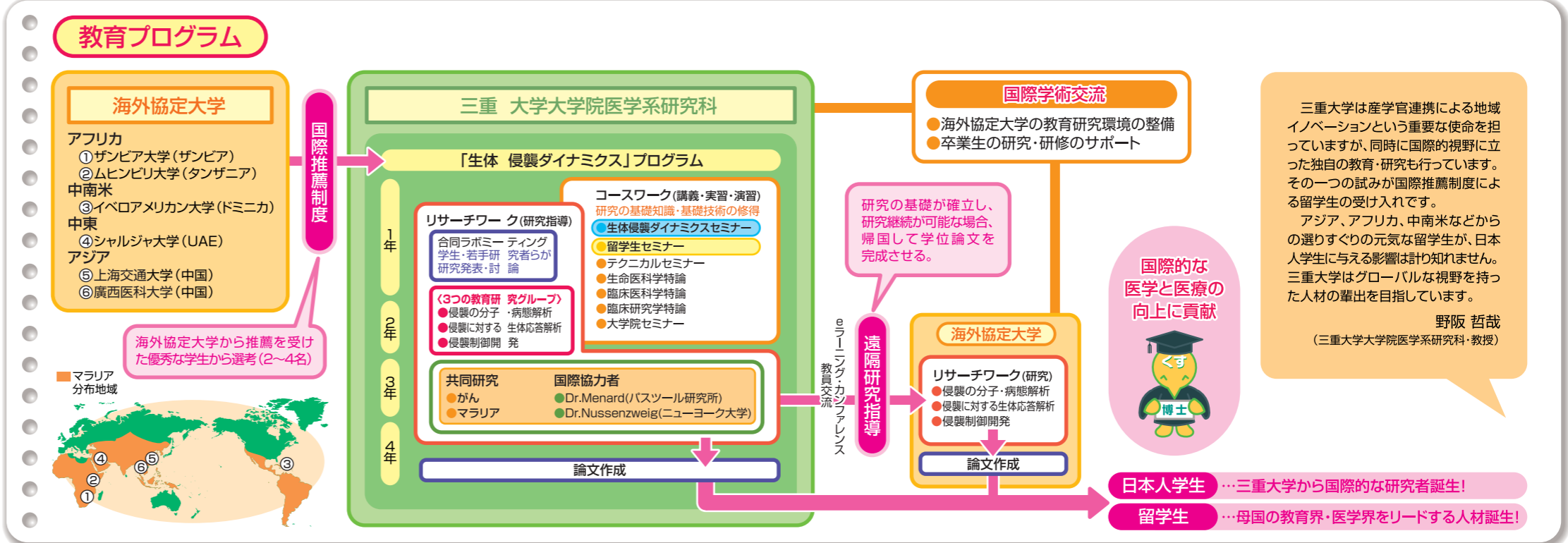
医学の未来をリードする 人材育成

三重大学大学院医学系研究科の「国際推薦制度による留学生教育の実質化」が、平成20年度文部科学省大学院教育改革支援プログラムに採択されました。このプログラムは、国際推薦制度で選ばれた留学生と本学の学生が切磋琢磨することで、がんや感染症など体の内外から生体を脅かす様々な侵襲と、それに対する体の反応(生体侵襲ダイナミクス)や治療法開発についての教育・研究の活性化を目指しています。



三重大学の留学生受け入れ基盤

- ◎国際水準の研究指導体制
 <3つの教育研究グループ>
 研究の中心は **がん** と **マラリア**
- ◎アフリカ・中南米・中東・アジアを中心とした国際交流実績
 20年以上にわたりJICA(国際協力機構)のプロジェクトで留学生を受入
 平成20年度は31名をアフリカ・中南米へ派遣
- ◎安心して留学できる環境
 ・学費免除
 ・経済的支援
 ・国際交流基金等からの奨学制度
 外国人留学生宿舎など宿泊施設を確保



★国際的評価の高いがんとマラリア※の研究★

がん発生

胃がん

マラリア感染

ハマダラ蚊

3つの教育研究グループの連携により
 ワクチン開発・遺伝子治療・薬物治療などにおける新規治療法を開発します。

※マラリアは熱帯・亜熱帯地域でハマダラ蚊に刺され、マラリア原虫が体内に侵入することにより感染する、年間数億人に感染し数百万人が死亡する世界最大の感染症です。

★生体侵襲ダイナミクスセミナー★

約30講義を国内外の第一線で活躍する研究者が行います。

- 専門講義
- 科学英語の使い方
- 英語論文の書き方
- プレゼンテーションの指導

研究成果を世界に発信するノウハウが学べるね!

English writing of scientific papers
 (英語論文の書き方)

- 考察に結果の内容を繰り返すな。
- 全データを提示したい誘惑に惑わされず、作業仮説に関するデータのみを示せ。
- 方法は過去形で、考察は現在形で。

Prof. Peter D.Wagner, M.D.

★留学生セミナー★

最新機器による実験手法を中心とした、少人数制の英語による講義です。

細胞培養法・PCR法・電気泳動・プロット法
 免疫酵素法・フローサイトメトリー

フローサイトメトリーのトレーニング

日本人学生も留学生からパワーをもらって頑張ってるよ!

病態解明医学講座ガバザ(Gabazza Esteban)教授が担当しました。

三重大学医学部附属病院

～中央診療施設 Part II～



附属病院 病院長
竹田 寛

あなたが、もし「がん」と診断されたら…
三重大学医学部附属病院は三重県がん診療拠点病院として、患者さんと共に「がん」と向き合い、総力をあげて患者さん一人ひとりに適したがん治療に取り組みます。

平成16年4月(法人化)以降に設置された中央診療施設

- 平成17年11月 オーダーメイド医療部
- 平成18年6月 がんセンター
- 平成19年4月 感染制御部
- 平成19年11月 乳腺センター
- 平成20年6月 健診センター
- 平成21年1月 肝炎相談支援センター
- 平成21年4月 外来化学療法部

三重大学
Vol.5
で紹介

三重大学
Vol.18
で紹介

今回はがん治療の
3つの部門を紹介します!



がんセンター

がんに立ち向かう!

センター長 中瀬 一則



近年団塊の世代ががん年齢を迎え、がん患者数は増加の一途をたどっています。当センターでは診療科の枠を越え、多部門の専門職が緊密に連携し、患者さん一人ひとりに最も適した治療法を迅速に決定したり、がんと診断された患者さんの肉体的、精神的苦痛の緩和や療養上の問題を解決するために、多職種の専門職からなるチームが全人的なサポートを行っています。

また、三重県のがん治療の拠点として、がん治療成績向上を目指し、様々な情報提供、啓発活動、がん専門職の育成を推進しています。

主な業務

毎月のリーダー会議*で種々の問題を検討し、強力な連携でがんに立ち向かいます。

*連携、教育、調査、治療、診断部門の各リーダー、県の担当者など11名で構成

- Tumor Board (腫瘍症例検討会)
各専門医が集まり適切な治療方針をスムーズに決定します。
- 緩和ケアチーム (がんサポートのスペシャリスト集団)
身体的、精神的苦痛が和らぐように最善を尽くします。
- がん相談支援センター (多職種連携による支援)
治療、心の問題、医療費のこと等お気軽にご相談ください。
- 院内がん登録 (今後のがん対策の要)
がん患者さんの診断・治療方法などをデータ化することで、より有効な治療方法や予防が可能になります。
- がん専門職の育成 (がん専門医・看護師・薬剤師)
高度化したがん医療の推進には、がんに特化した人材の育成が重要です。
- 市民公開講座 (地域住民の皆様対象)
がんに対する正しい知識の普及、啓発に努めています。
- 講演会・セミナー開催 (県内医療従事者対象)
県内の医療従事者への教育・啓発を行っています。

[がんセンターURL] <http://www.medic.mie-u.ac.jp/ca-center/>

三重県全域で
「院内がん登録」が
早く普及すると
いいね!



乳腺センター

全員が女性スタッフ!

センター長 小川 朋子



25人に1人。これは今日本人女性が乳がんにかかる割合です。しかもその数は年々増加し30～60代女性の死亡原因の第一位となっています。

しかし、乳がんは早期に発見し、治療すれば完治できる可能性が高いがんです。

当センターのスタッフは、全員が乳腺に関する知識と技術を持った女性です。乳房に関する不安をお持ちの方は、1人で悩まず早期に受診してください。

また、患者さんに県内全域で同じレベルの診断・治療を提供できるように、地域の医療機関と連携した医療体制作りを進めていく予定です。

特徴的な診療

腫瘍内科医、放射線科医、病理医などとの連携で、診断から治療までの一貫したチーム医療体制が整っています。

- 先進的な検査
マンモグラフィ、超音波(エコー)、マンモトーム生検、MRIなどでがんの広がりや正確に診断します。
- 外科的治療
乳腺外科医による手術を主体とし、病変部位の切除だけでなく、乳房を形良く残せるよう、手術方法を工夫しています。
- 放射線治療
医療チームの医師達が個々の患者さんの病状を検討し、適切な時期に放射線治療が施行されます。
- 乳房再建外来
形成外科医による診療で、乳房とともに女性としての自信も取り戻すお手伝いをします。(第2火曜日午後・要予約)
- 地域医療
月に2回尾鷲総合病院や紀南病院に出向き、術前、術後の患者さんの診療を行っています。

女性スタッフだから
受診しやすいね!



外来化学療法部

通院で薬物治療を!

部長 片山 直之



抗がん剤をはじめとするがん薬物療法は、現在外来通院で行うことが主となっています。そのため家庭生活や仕事との両立をしながら治療を受けることができます。

かつては「抗がん剤治療=苦しい」というイメージがありましたが、医療の進歩により副作用を最小限に抑えることができるようになりました。

また、専門の医師、看護師、薬剤師が、患者さんにリラックスした環境で安心して適切な治療を受けていただけるように、各診療科と緊密に連携して心をこめて治療にあたっています。

診療内容

- 患者さんは各診療科の外来を受診していただきます。
- 血液検査でその日の身体の状態をチェックします。
- 担当医師が治療を受けられるか判断をします。
- 担当医師の指示で専門薬剤師が、化学療法部内の安全キャビネットで抗がん剤の調合をします。
- 調合された薬剤を数名でチェックし安全確認をします。
- 専門医と専門看護師が常に状態を観察しながら点滴をします。



スタッフも優しいし
TV付きリクライニング
シートも快適だよ!



平成21年
6月6日

「三重大学」 梅酒造り体験

生物資源学部の学生や大学院生14人が寒紅梅酒造で梅酒の漬け込み作業を行いました。青梅3割、完熟梅7割を使用し、甘酸っぱさとフルーティさのバランスのとれた味に仕上げ、12月に発売予定です。



紀宝町産の南高梅を大吟醸「三重大学」に漬ける

平成21年
6月7日

NHK大学 ロボコン2009 アイデア賞受賞!!

20チームが参加する中、ロボコンクラブ「M²RC(エムキューブアールシー)」がアイデア賞を受賞しました。



3年連続
入賞!

平成21年
6月24日

知事トーク inキャンパス

野呂昭彦三重県知事が、県の主要な取り組みや地域医療などについて講演。学生と意見交換を行い、約200名の学生たちは熱心に耳を傾けていました。



写真中央：野呂昭彦 三重県知事

平成21年
7月3日

ヒルホテル サンピア伊賀 「三重大学発 産学官連携セミナー in伊賀2009」

三重大学伊賀研究拠点主催の地域活性化と産業振興をはかるためのセミナーが開催され、地元企業などの関係者165名が出席しました。



サントリー株式会社
但馬良一 安全性科学センター所長

平成21年
7月6日

MOT 講座開催 (Management of Technology)

中部電力株式会社代表取締役副社長執行役員の宮池克人さんが原子力発電についての講演を行いました。参加した工学研究科学生120人は興味深く聴き入っていました。



平成21年
7月8日

附属病院 外来ホールに おりひめ様がやってきた!

(社)津青年会議所「七夕笹流し」事業に協賛

津市立藤水幼稚園にいるひこぼし様と岩田川観音橋で再会する時まで、外来ホールでお出迎えします。



夢いっぱい
のつのまち

来年の七夕
までいます

内田学長 からのメッセージ 「心のゆとり30秒」

<http://www.mie-u.ac.jp/topinfo/hp2/cat241/message-1.html>



心のゆとりは、
幸せになれる
ヒントだよ!

ホーム
ページをご覧ください。

平成21年
6月22日

みえメディカル 研究会総会

宮田 満 日経BP医療局主任編集委員が「バイオ技術革新とバイオベンチャー」について特別講演を行いました。多数の参加者は、メモをとるなど、爽りの多い研究会となりました。



えっくすくん information 気になるNEWS

平成21年
7月16日

タイ・タマサート 大学東アジア研究所に 「三重大学 タイ教育研究 センター」開設

タイにおける本学の活動拠点として開設されました。今後、教育・研究交流を発展させます。



内田洋正学長とセンターの門番

平成21年
7月20日

三重県 生涯学習センター みえアカデミック セミナー2009 「絆～社会保障の視点から」三重大学

医療、介護、年金など社会保障制度における「絆」の重要性をテーマに公開講座が開催され、参加者から活発な質疑応答が行われました。



稲川武宣准教授(人文学部)

平成21年
8月7日

風車でかき氷

今年も、小中高生を対象に環境体験学習が行われました。参加した子どもたちは、小形風車を組み立て、風車で得た電力でかき氷を作り、楽しみました。



ベンチャービジネス・ラボラトリー前



平成21年
8月7日

第76回 NHK 全国学校音楽コンクール 「三重県コンクール」

金賞 附属中学校 附属小学校

平成21年
8月10日

平成21年度 三重県献血功労者表彰式 体育会応援団に 「厚生労働大臣表彰状」

20年以上継続して1人400mlの成分血液を組織的に提供した団体などに贈られます。



平成21年
8月11日

平成21年度 三重県吹奏楽コンクール 三重大学吹奏楽団が 「朝日新聞社賞」 受賞!!



平成21年
7月22日

平成21年
7月23日

英虞湾の附帯施設 水産実験所公開講座

高校生が
参加!

「沿岸生物の多様性」

実習船「たんすい」で、御座港の市場に行き、定置網漁業の漁獲物を見学しました。漁獲物の採集や観察から海洋生物について知識を深めました。



種の同定から新たな発見!

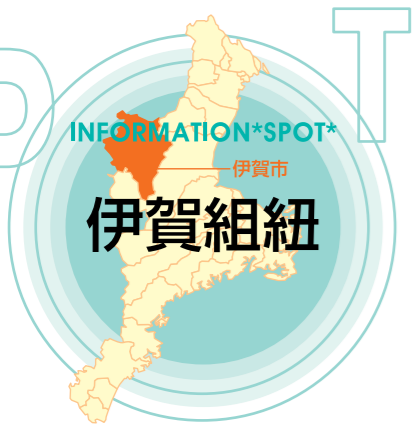
平成21年
7月22日

日食観測会

午前11時10分頃、曇り空のなか、太陽の8割が欠ける部分日食が見られました。集まった親子連れや学生約500人から「すごい」と歓声があがりました。



講堂(三翠ホール)前で日食に見入る人々



伊賀組紐

忍者のまちで、伝統工芸み〜つけた。
伊賀組紐を取材してきました。

◎伝統の技を広める

奈良時代以後に日本で作り始められた組紐は、巻物や刀、甲冑などの紐に利用されてきました。明治維新の廃刀令により、武具から帯締めに姿を変えて、用いられるようになりました。

江戸で組紐の技術、技法を明治35年、初代廣澤徳三郎が習得して、この地域で広めたのが、伊賀組紐の始まりです。代々受け継がれてきたこの技術は、昭和51年に国の伝統工芸品に指定され現在に至っています。今回はこの伝統技術を見学させていただきました。



▲ちょっと体験させて頂きました



小野 レポーター



▲まちかど博物館入り口、風になびくのれんが涼しげでした



▲館内には、組紐グッズがいっぱい



▲サイフ、ネクタイなどの小物がありました



▲プロの技術を目の前にスゴイ!の一言 三代目徳三郎さんはこの道40年以上だそうす



まちかど博物館 廣澤徳三郎工房
 ■所在地 〒518-0878 三重県伊賀市上野西大手町3635-1
 ■お問い合わせ先 TEL.0595-21-1127
 [URL] <http://www.ict.ne.jp/~toku-3/>

◎職人技が光る実演

伊賀組紐の最大の特徴は、伸縮性があることです。硬くて伸びない紐に比べて、適度な柔らかさがある伊賀組紐はよく締まるので帯締めとして使うと着くずれしにくく、食後お腹が膨らんでも自然と調整されます。

なんと帯締めを5cm織るには、200回の動作が必要です。糸を動かして「トントン」とヘラでたたいて編みこんでいく。表面を平らにすることは想像以上に難しく、素人と職人とは音の違いが技の違いとなるそうです。丁寧な仕事で、花や動物の柄を編みこんでいくことはまさに職人技でした。

帯締めだけでなく、伊賀組紐のネクタイやベルトはとても涼しげでお洒落です。大切な人にこんな粋なプレゼントはいかがですか。

Line Break (ラインブレイク)

代表 橋爪 勇樹
 (生物資源学部資源循環学科 3年)
 [HP] http://suzuka.cool.ne.jp/linebreak/index_pc.html



▲奈良県下北山村ヒュッテにて

活動は月3~4回 主に土曜日
海、川、湖、自然あふれる場所
 夏季:釣り・キャンプ / 冬季:スノーボードなど

今年、20周年を迎えたLine Break (ラインブレイク)は、釣りを中心にアウトドア活動を楽しむサークルです。

活動は主に土曜日で、琵琶湖等を舞台に「ブラックバス釣りトーナメント」を開いて仲間たちと腕を競い合っています。

11月の大学祭では、一大イベントとして、自分たちで釣ってきた約200種類の魚を展示する「水族館」を開き、昨年は2日間で4千人もの人々にぎわいました。地域のみなさん、今年もぜひ「水族館」に遊びに来てください!!おもしろい魚に出会えますよ!!



▲2008年 大学祭



◆2009年病院夏祭り

長期の入院生活を強いられた子どもたちは大きなストレスを抱えています。私たち「ぞくよん*」は、病気と闘う子どもたちが少しでも病気のことを忘れて、楽しい時間を過ごせるように病院内の夏祭りを企画したり、工作や料理を一緒にしています。

また、今年の1月から始めた、付き添いで大変なお母さんたちにコーヒーを提供する、という新しい試みは、大変好評です。今後も、子どもたちが生き生きとした笑顔でいられるように活動を続けていきたいと思ひます。

*ぞくよん：以前「よんちゃんず」として活動。2004年に「繞・よんちゃんず」→「ぞくよん」(略)となり新たに活動をスタート



活動は月7~8回
プレイルーム (医学部附属病院5階小児病棟内)

代表 橋本 佑樹
 (医学部医学科 3年)
 [HP] <http://zokuyon.pupu.jp/>

ぞくよん

ベトナム料理、焼き上がり☆

* 表彰

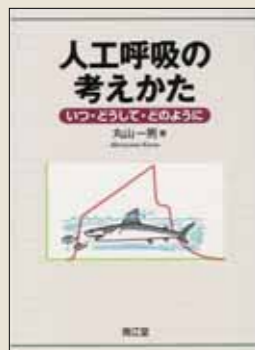
●平成21年5月26日
2009年日本コンクリート
工学協会賞(技術賞)

工学研究科・教授 畑中重光
助教 三島直生 他



受賞者	受賞名(受賞日)
生物資源学研究科 名誉教授 天野秀臣	平成20年度日本水産学会功績賞 「海藻成分の生化学と機能性に関する一連の研究」 (2009.3.30)
工学研究科 助教 西村 顕	Young Scientist Award "CO2 Reforming into Fuel by Membrane Reactor Composed of TiO2 Photocatalyst and Gas Separation Membrane" (2009.5.17)
工学研究科 准教授 金子 聡	Energy & Environment Science Youth Scientist Prize(RSC Publishing) (2009.5.23)
生物資源学研究科 准教授 稲垣 穰 他	マテリアルライフ学会論文賞 "Effect of Post-Processing Treatments on Improvement of the Taste of Silicone Rubber for Beverage Use" (2009.7.10)
医学系研究科 教授 武田裕子	Award for Academic Excellence (2009.7.24)

* 本の紹介



人工呼吸の考えかた いつ・どうして・どのように

息が止まった人や肺の病気で呼吸障害がある人に対して、器械で呼吸させる治療を人工呼吸といえます。医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士などを対象に、人工呼吸のコンセプトと器械設定の考えかたを分かりやすく説明しています。また、医療系の方々以外が読んでも分かるように、イラストや図表を用いて解説しています。

著者/丸山一男(医学系研究科・教授)
定価/3,200円(税別)
発行/南江堂

* 学生表彰

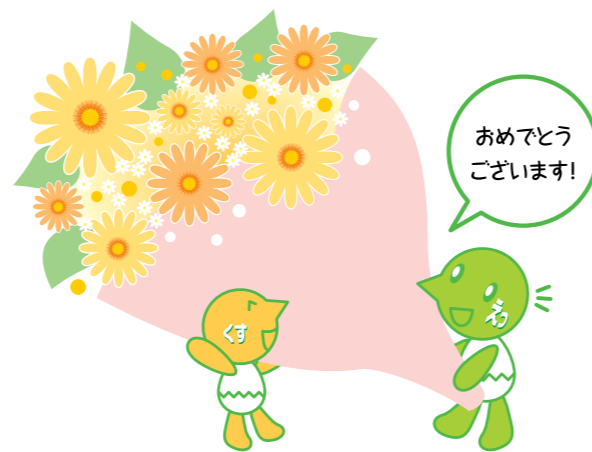
第23回セラミゼ研究会
ポスター賞 第一等

地域イノベーション学研究所
(前)1年 蟹江美佐さん
(教授 荻田修一)



第71回耳鼻咽喉科臨床学会
ポスター賞

医学部6年 北川香里さん
(准教授 湯田厚司)



* 教員免許状更新講習

●平成21年からの教員免許更新制導入にともない、三重大学では教員免許状更新講習を開設しています。9月14日から第Ⅳ期の受講申込み受付を開始します。

- ◎講習期間◎ 11月7日(土)~12月26日(土)
- ◎申込み期間◎ 9月14日(月)~9月20日(日)
- ◎会場◎ 4地区(中勢(三重大学)、伊賀、志摩、東紀州)
- ◎問い合わせ先◎ 三重大学学務部教務チーム教員免許状更新講習担当
☎059-231-5520 / Eメール koushin@ab.mie-u.ac.jp

開設日、会場、講座名、受講対象者、定員及び時間等詳細については、ホームページでご確認ください。 URL <http://www.edu.mie-u.ac.jp/menkyo/>



* 三重大学「地域活性化システム論」講座

- ◎会場◎ 三重大学総合研究棟Ⅱ 1階 メディアホール
- ◎時間◎ 各日10:30~16:30 終了後交流会あり
- ◎受講料◎ 無料(交流会・参加自由 1,000円程度) ◎申込み◎ 9月11日まで
- ◎問い合わせ先◎ 三重大学学術情報部社会連携チーム/☎059-231-9006
FAX:059-231-9047 Eメール:renkei@ab.mie-u.ac.jp
URL <http://www.crc.mie-u.ac.jp/new.php?no=33&num=2#no33>

- 10月 2日(金) 三重県の現状を見つめ直し、地域活性化の課題を考える
- 10月16日(金) 産学官連携から地域活性化を考える
- 10月30日(金) 地域資源を活かし、地域に根ざした産業を育てる
- 11月13日(金) 観光の活性化による地域活性化を考える
- 11月20日(金) 全国と三重県での取組から地域活性化を考える

三重大えっくすは
ここに置いてあります!



三重大学附属病院/四日市フロント/知の支援センター(アスト津)/伊賀研究拠点/三重県庁/県内高校/県内市役所・役場/県内図書館・公民館/県内関連病院/県内保健所/三重県総合文化センター内/百五銀行/三重銀行/紀南病院/eisu/名古屋市立図書館

近鉄主要駅
(津/江戸橋/桑名/四日市/白子
松阪/伊勢市/宇治山田/五十鈴川
鳥羽/伊賀神戸/桔梗が丘/名張
上野市/青山町)



* 附属学校園から

附属幼稚園

●平成22年度入園ご希望の方へ

入園児募集要項(願書等一式)を配布します。

- ◎日時◎ 平成21年9月14日~9月30日(土・日曜・祝日を除く) 9:00~15:00
- ◎募集人数◎ 3年保育/約20名 2年保育/約50名
- ◎願書受付◎ 10月1日~10月7日(土・日曜を除く) 3年保育 9:00~12:00 2年保育 13:00~15:00

●新入園に関する見学会と説明会

- ◎日時◎ 平成21年9月18日(金) 見学会(9:30~10:00) 説明会(10:00~10:45)

●幼稚園の園庭を開放(9/17より再開します)

- ◎日時◎ 毎週月曜日 15:00~17:00 毎週木曜日 13:00~17:00

◎ご注意◎ *受付で利用記入簿に記入してください。*トイレは管理棟、昇降口のところをご使用ください。*園舎には入れません。*ゴミはお持ち帰りください。*使った玩具等は必ず、片づけてください。*保護者同伴でお越しください。

●公開保育と「保育を語る会」のご案内

- ◎研究主題◎ 教育課程の実践と定着~活動を支えるもの~
- ◎日時◎ 平成21年11月14日(土)

●問い合わせ先● 教育学部附属幼稚園/☎059-227-1711

附属小学校

●公開授業研究会のご案内(第一次)

- ◎研究主題◎ 「探求する力を豊かにする授業~友だちの視点にふれて考える~」
- ◎期日◎ 平成22年2月11日(木・祝日) ◎参加費◎ 未定
- ◎受講対象者◎ 教育関係者及び学生

●問い合わせ先● 教育学部附属小学校/☎059-227-1295

附属中学校

●文化祭(附中のハーモニー)

学級の合唱、音楽部の合唱、有志によるダンスの発表、教科発表など生徒達の練習の成果をご覧ください。

- ◎日時◎ 平成21年11月12日(木) 9:00~ ◎会場◎ 三重大学講堂

附属特別支援学校

●教職員対象コンサルテーション

附属特別支援学校では、保育園・幼稚園・小学校・中学校で知的な発達遅れ(自閉性障がいを含む)がある子どもを担当されている教職員を対象に教育相談を行っています。お気軽にお問い合わせください。

●ボランティア募集

附属特別支援学校の子ども達と授業や行事に参加しませんか。活動内容/各教科の授業・作業学習・校外学習・課題スポーツ(ソフトボール)等

●学校祭

子どもたちが頑張って取り組んだ小学部・中学部・高等部による学習発表やお祭り広場、作品展など色々な催しを企画しています。

- ◎日時◎ 平成21年10月17日(土) 9:30~14:45

●問い合わせ先● 教育学部附属特別支援学校/☎059-226-5193

秋の「運動会」開催

子どもたちが一生懸命に練習をしました。ぜひ、子どもたちの笑顔とその成果をご覧ください。

- 附属幼稚園●平成21年10月12日(月・祝)雨天順延
- 附属特別支援学校●平成21年10月31日(土)雨天順延

著書名	著者・発行・金額(税別)
鉄筋コンクリート構造 理論と設計 第3版	共著/畑中重光(工学研究科・教授)他 森北出版 3,400円
血液内科 ベッドサイドメモ	編著/片山直之(医学系研究科・教授)他 中外医学社 5,600円

国指定史跡 久留倍官衙遺跡



久留倍官衙遺跡全景 (北上空から)



久留倍官衙遺跡から伊勢湾を望む (西から)



天皇が去った後この地は郡の米を納める倉庫群となる。穴は建物の柱跡

四日市市教育委員会提供

四日市市大矢知に所在する史跡です。1999年からの発掘調査により、古代伊勢国朝明郡訓覇郷に所在した役所の一つであることが判明しました。8世紀前半に東海道の設けられた朝明駅(30里へ約16km)ここに置かれた古代の交通機関として成立しますが、8世紀中頃に突然大改造されます。東西40m近い巨大な建物が丘の頂上に建てられ、南には広場が設けられます。周囲には丘の高低差を利用して大小の建物が建設されました。とても地方の役所では見ることのできない規模です。740年11月23日、奈良の平城京を出て長期の行幸に出ている聖武天皇は、朝明郡で二泊します。騎兵400人や女官達を含む総

勢1000人を超える大部隊が、どこに泊まったのか、長く謎でした。久留倍官衙遺跡の調査によってその答が得られたと考えています。わずか二日の滞在のために当時の政府は広大な施設を次々と造って天皇を迎えていたのです。遺跡に立つと伊勢湾が一望でき、はるか南には伊勢神宮を望むことができます。内舎人として付き従った大伴家持の妻を想う歌も遺され、往時の貴族社会を垣間見ることが出来ます。聖武天皇一行は25日、眼下の東海道を通って桑名を目指します。

山中章
三重大学人文学部文化基礎研究教授



▲久留倍官衙遺跡にて。古代衣装に扮した三重大生演



三重大学総務部広報チーム
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9623
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp *ご意見をお寄せください。

本誌お問い合わせ先

* お願い・ご報告

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- 学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- 学生の修学環境整備事業
- 学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- 地域貢献支援事業
- その他本学の目的達成に必要な事業

● 募金の方法 ●
三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご送付ください (FAX・E-mailでもOKです)。

ご送付先
お問い合わせ先

三重大学振興基金事務局
【総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: <http://www.mie-u.ac.jp/fund/>

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています (発行: 毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

配信申込み方法

次事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

1. メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
2. メールの本文に、以下の事項を添えてください。
 - ①「一般」もしくは、「三重大生 (保護者)」
 - ②お住いの都道府県

koho@ab.mie-u.ac.jp

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

アンケートに答えて...

● 三重大学オリジナル「えっくすくんわいわいボールペン」をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわいわいボールペン」をお送りします。どしどしお寄せください。(先着100名)

* なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。



→「えっくすくんわいわいボールペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。

* 公開講座・シンポジウムなど

- C型肝炎市民公開講座
「知って治そう、肝炎、肝がん。ここまで進んだ最新治療」
◎日時◎ 平成21年10月24日 (土) 14:00~16:00
◎会場◎ 三重県総合文化センター 小ホール
◎問い合わせ先◎ 医学部附属病院肝炎相談支援センター / ☎059-231-5017
① C型肝炎という病気
◎講師◎ 藤田尚己 (医学部附属病院 肝炎相談支援センター・副センター長)
② 肝臓病の食事療法
◎講師◎ 岩田加壽子 (医学部附属病院 栄養指導管理室・室長)
③ インターフェロン医療費助成制度について
◎講師◎ 長谷川浩司 (三重中央医療センター 消化器内科・医長)
④ C型肝炎治療に関する最新情報
◎講師◎ 竹井謙之 (医学部附属病院 消化器肝臓内科・教授)
● 特別講演「よりよい老いを求めて一死に時という発想」
◎講師◎ 久坂部 羊 (作家 医師 大阪大学医学部卒)
*当日は肝臓専門医により個別のご相談を受け付ける予定です。
- 「文化力形成と地域活性化」連続フォーラム
◎問い合わせ先◎
三重大学博学連携推進室 / ☎059-231-9081 Eメール: toshio-l@ab.mie-u.ac.jp
三重県生活・文化部新博物館整備推進室 / ☎059-224-2175 Eメール: shinhaku@pref.mie.jp
● 第1回フォーラム 文化力・地域の活性化と大学の役割
◎日時◎ 平成21年10月29日 (木) 13:00~16:00
◎会場◎ 三重大学講堂 (三翠ホール) ◎定員◎ 200人 (入場無料・先着順)
1) 基調講演
① 「文化力による地域活性化と大学の役割」 館 逸志 (内閣府大臣官房審議官)
② 「文化力と企業ボランティアの役割」 (仮) 岡田卓也 (イオン株式会社社名譽会長)
2) パネルディスカッション「文化力・地域活性化に貢献する大学」
● 第2回フォーラム 博物館と大学の連携により進める人づくり
◎日時◎ 平成21年11月15日 (日) 13:00~16:30
◎会場◎ 三重県教育文化会館 6階多目的ホール ◎定員◎ 200人 (入場無料・先着順)
1) 基調講演
「ミュージアムとの連携による大学教育」宇野文男 (福井大学・教授)
2) パネルディスカッション「博物館活動と大学の連携 ―その可能性と展望―」
● 第3回フォーラム 文化力と地域の活性化を拓く博学連携 (博物館と大学との連携)
◎日時◎ 平成21年12月5日 (土) 13:00~16:30
◎会場◎ 三重大学講堂 (三翠ホール) ◎定員◎ 200人 (入場無料・先着順)
1) 基調講演①「21世紀の博物館像を考える―博学連携への期待」金山喜昭 (法政大学・教授)
②「しのぎを削る。人と知と博物館と大学と」遠藤秀紀 (東京大学・教授)
2) パネルディスカッション「文化力・地域の活性化と博学連携」
- ミニシンポジウム「高校生のためのバイオ研究のすすめ」
◎日時◎ 平成21年11月7日 (土) (三重大学祭) 13:00~17:00
◎会場◎ 総合研究棟Ⅱメディアホール ◎定員・受講料◎ 50名・無料 (申込み不要)
- 日本気象学会中部支部会・研究発表会
◎場所◎ 三重大学・総合研究棟Ⅱメディアホール
◎日時◎ 平成21年12月8日 (火) 13:00~18:00 12月9日 (水) 9:00~12:00
◎入場料◎ 無料 ◎申し込み◎ 事前に電子メールで申し込み
三重大生物資源学研究所・地球環境気候学研究室 / 立花 (tachi@bio.mie-u.ac.jp)

催し物

- 三重大学レクチャーコンサート 新進オペラ歌手が競う愛の賛歌
◎日時◎ 平成21年10月18日 (日) 13:30開場 14:00開演
◎会場◎ 三重大学講堂・大ホール ◎入場料◎ 無料・事前申込不要・全席自由
◎問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館 総務担当 / ☎059-231-9032
Eメール: lib-kikaku@ab.mie-u.ac.jp URL: <http://www.lib.mie-u.ac.jp/exhibition/opera09/>
- 「ベルリンの壁崩壊及びドイツ再統一」記念展
● 写真展 ◎日時◎ 平成21年11月6日 (金) ~ 15日 (日)
平日8:45~21:45 / 土日9:00~18:30 ◎会場◎ 三重大学附属図書館
● 記念講演会 ◎日時◎ 平成21年11月8日 (金) 13:30~ ◎会場◎ 三重大学講堂 小ホール
◎問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館 総務担当 / ☎059-231-9032
Eメール: lib-kikaku@ab.mie-u.ac.jp

三重大学祭



詳しくは、
こちらから

テーマ/三重奏 ~Miesou~

今年も楽しい企画が盛りだくさん♪
気になる今年のアーティストは...!?

ボクとあなたとあのヒトと

奏てよう三重の音色

届けようキミの音色

期間
11月7日(SAT) ~ 8日(SUN)
9:00 ~ 19:00



参加
無料
豪華
賞品あり

プレイベント
～逃走ゲーム～

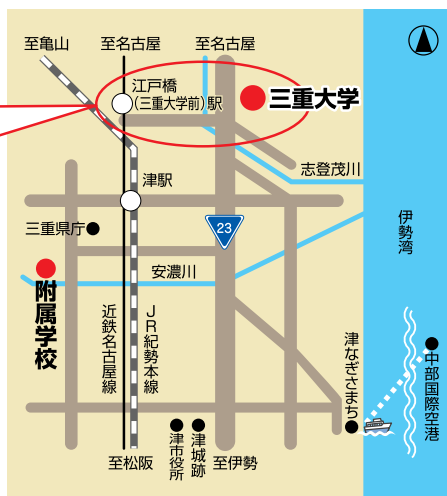
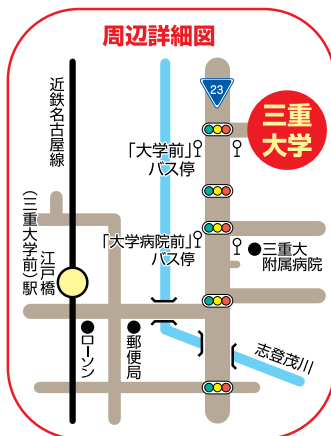
クリエーションを
コンタクトして
逃げ切れ!

とき
11/1
SUN

変更の
可能性
あり

第一体育館

【小雨決行】予備日11月3日(火)
◎12:30~受付 ◎16:30~閉会式



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重大病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスステイ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>